

どんぐりくん

林野庁長官感謝状拝領記念特集号

発行者 NPO 法人地球の緑を育てる会
主たる事務所
つくばみらい市陽光台 1-1-2 B-829
〒300-2358 Tel&Fax 029-757-1539
従たる事務所
〒305-0046 つくば市東 2-15-31
Tel&Fax 029-851-0120
E-mail office@greenglobe.jp
URL <http://www.greenglobe.jp>

林野庁長官より当会に対し感謝状が贈られました



5月14日、茨城森林管理署にて本郷浩二林野庁長官から感謝状が当会に授与され、木村謙茨城森林管理署長から皆さまを代表して石村章子理事長がこれを拝領致しました。

「国民の森林づくり推進功労者」に贈られるもので、筑波山北面「全国緑化行事発祥の地」記念碑に至る歩道整備や森林環境教育を長年継続して行ったことが評価されたようです。

感謝状は縦 35 cm、横 45 cmの大きさで、ヒノキの香り漂う総ヒノキづくり、大変貴重なものでした。

2021年5月15日 茨城新聞朝刊

同地の歴史 (茨城森林管理署ホームページより抜粋)

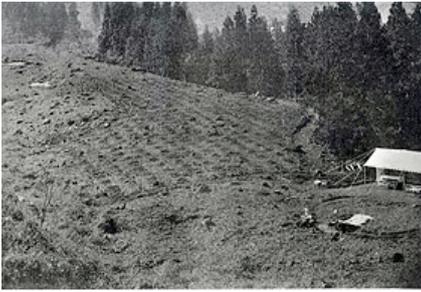
昭和初期は世界的な経済恐慌の渦中にあり、農山村の疲弊と劣弱な森林資源、多額の木材輸入といった状況に対し、植林を推進し、資源を充実することが課題とされた。このような中、大日本山林会を中心として愛林日設定委員会が結成され、愛林思想の普及と植林の推進に向け、愛林日を設け、全国的な緑化行事を催すことが提唱され、各界の賛同を得て昭和8年(1933年)に愛林日が設定された。昭和9年の植樹祭は筑波山麓で開催、農林政務次官、農林次官、山林局長、東京営林局長、大日本山林会会長、帝国森林会会長など官民の代表者が数十名参加した(農林大臣は当日欠席)。紫尾村(現桜川市)東山田で車を降り、山路を約40分登った国有林にスギとヒノキを植えたことと記録されている。時がたち、いつしかこの植樹箇所も忘れられていたが、第一回植樹に参加した徳川宗敬氏(当時(社)国土緑化推進委員会理事長)が当地が歴史に埋もれることを危惧し、昭和59年秋に小泉章三氏に調査を依頼。1年数ヶ月に及ぶ調査により、ついにこの箇所が発見・確認された。徳川氏の提唱により記念碑(御影石/高さ2m)が建立されたのは、植樹から52年目のことである。

備考 徳川宗敬氏は水戸徳川家の生まれ、第15代将軍・徳川慶喜は大叔父に当たる。

桜川の国有林整備
林野庁功労者選出
つくばみらいのNPO
桜川市の筑波山麓に広がる鬼ヶ作国有林で歩道整備などに取り組みNPO法人「地球の緑を育てる会」(つくばみらい市陽光台、石村章子理事長)が林野庁の「国民の森林づくり推進功労者」に選ばれ、14日、水戸市笠原町の茨城森林管理署で感謝状が授与された。
同会は2001年設立。植樹などの活動に取り組み、13年度から桜川市真壁



感謝状を贈られた石村章子理事長(右)と茨城森林管理署の木村謙署長(水戸市笠原町)とが評価された。木村謙署長から感謝状を手渡された石村理事長は「ものすごくうれしい。ともに活動してきた方々の励みになる」と喜びの表情。今後の活動について「若い方々や子どもたちに森林の教育活動をしていきたい」と展望を語った。国民の森林づくり推進功労者表彰は、国有林の整備や森林環境保護、国産材利用の推進などに貢献した個人や団体を対象に、林野庁長官が感謝の意を表すために行われている。



植樹箇所の状況(「山林」昭和9年5月号)



第一回植樹祭に参加した関係者
(S9年4月4日撮影
(「山林」昭和9年5月号より))

筑波山の北西山麓標高約200m
の地点
記念植樹面積は約1.2ヘクタール

活動ハイライト

毎日新聞記者の方より「全国緑化行事発祥の地」のお話を伺い、国土の発展は植樹にありと努力された当時の林野指導者達の想いと努力の原点である同地の重要性や奇跡的な歴史を知り、2013年より整備や啓発活動をはじめました。2013年、同地は林業学会が選定する林業遺産100選に第3番目に登録されています。



←今から35年前、小泉章三氏(つくば市在住、現在93歳)は徳川宗敬氏の命を受け、埋もれていた第一回植樹地を奇跡的に発見、現在も当会主催の行事に参加されています。

→2013年9月24日、当会の活動開始に際し、大雨の中、活動参加者の無事を祈る祈願祭を行って下さった筑波山神社元宮司/田中泰一氏



2014年3月9日 「道普請車座フォーラム」の開催： 於筑波山神社拝殿



2014年3月8日
懇親会にて名物の「大根踊り」を披露する
東京農業大学生有志

特別講演「森林づくりの展開(仮題)」=林野庁長官・沼田正俊氏
話題提供「森は海の恋人運動の原点」=国連フォレストヒーロー・畠山重篤氏
話題提供「森といのち」=筑波山神社宮司・田中泰一氏
パネルディスカッション

- 公益社団法人国土緑化推進機構常務理事・青木正篤氏
- 公益社団法人大日本山林会会長・箕輪光博氏
- 社団法人全国森林レクリエーション協会理事長・伴次雄氏
- 全国森林組合連合会会長・佐藤重芳氏
- 公益社団法人茨城県緑化推進機構理事長・田村輝穂氏
- 高野山真言宗阿闍梨・宮島基行氏
- NPO法人森は海の恋人理事長・畠山重篤氏
- 毎日新聞社水と緑の地球環境本部長・斗ヶ沢秀俊氏
- NPO法人地球の緑を育てる会理事長・石村章子など



2014年11月15日丸太を渡す有志



2014年11月15日丸太を渡す有志



静岡県から NPO 法人時の寿クラブ有志、(株)三五関東有志ら 45 人参加の山林整備作業

つくば市ふれあいの里でご苦労さん会挨拶する安永正治茨城森林署長(当時)

2015 年 1 月 17 日 森づくりの道フォーラム開催： 於イトーキ東京イノベーションセンター



↑ パネリスト

↑ 夜の懇親会

大塚 潤子/株式会社 東京チェンソーズ、 伴 次雄/社団法人 全国レクリエーション協会 理事長、 牧元 幸司/林野庁林政部長
箕輪 光博/公益社団法人 大日本山林会 会長、 宮林 茂幸/東京農業大学 教授、
オブザーバー 青木 正篤/公益社団法人 国土緑化推進機構 常務理事 コーディネーター 斗ヶ沢 俊秀/毎日新聞社 水と緑の地球環境本部長

国連フォレストヒーロー
島山重篤氏講演
「巨大魚付林アムール川」

2015 年 10 月 24 日 宮林茂幸東京農業大学教授の森林教室



「森林の中で遊んだり働いたりすると間違いなく IQ の高い子に育ちますよ」などと森の働きの重要性を語る宮林教授

アメリカから留学の筑波大学生、お父さんはアメリカで森林保全の仕事をしているそうです。

アウトフィールド書道を推進する日本文化書道院 玲書館主宰山本玲葵氏(右)の指導で難しい漢字に挑戦する留学生



森の中は楽しく珍しいものが一杯

2016年10月1日 官民参加で小川に橋を架け直す



朽ちてきた丸太橋を新しく架け直す
頑丈なものになりました！

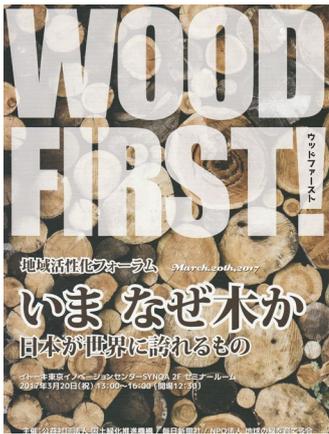


我ら「山ガール」？「植樹ガール」？
時代の最先端を行くわよ



当会農場でテント宿泊
夜のBBQで語らいはつきない

2017年3月20日フォーラム開催



当日配布パンフレット参加者
220名

2018年4月22日取材



筑波ケーブルテレビ ACCS の取材を受ける

2019年6月9日丸太階段づくり



2016年10月1日記念写真 ツルハシを持つ人が現在の本郷浩二長官

記念碑背面碑文

昭和八年、当時の大日本山林会長和田国二郎を中心とする愛林日設定委員会は愛林思想の普及と植林の推進をはかるために毎年四月二日から四月三日までの三日間を「愛林日」と定め国民的運動として全国一斉に造林行事を催すことを提唱した

これには時の農林次官石黒忠篤氏、山林局長村上龍太郎氏も多に賛同し昭和九年から農林省の積極的な協力により全国統一的な植樹の日として全国に呼びかけ実施することになった

第一回の愛林日にはこの筑波山の鬼ヶ作国有林で中央行事としての記念植樹が官民代表によって行われ以後、戦後の激化した昭和十九年まで愛林運動は関係者の努力により全国的規模でつづけられた

戦後の混乱が続く昭和二十二年には早くも徳川宗敬氏を会長とする森林愛護連盟が結成され一時中断していた愛林日行事が再開された

我が国の植樹の日としてつづけられてきた愛林日の思想と行動はその後昭和二十五年から始まった全国植樹祭に引き継がれ現在では国民的緑化行事として定着し発展をつづけながら継続実施されている

徳川宗敬氏の提唱によりここに記念碑を建立する

昭和六十一年

林野庁東京管区
大日本山林会

昭和9年に植えられたスギ、ヒノキは大木となり、35年前の徳川宗敬氏建立の石碑の前で、毎年、参加者一同記念写真を撮ってきました。作業参加者、フォーラム参加者は2017年3月20日のイトーキ(東京都京橋)のフォーラム「今、何故木を植えるか」の参加者合わせ延べ700人以上になります。現代の環境問題は更に厳しさを増し、地球温暖化、気候変動など脱炭素0を目指して、先人の努力が個人個人の想いとなって更に引き継がれることを願います。(各活動の詳細は当会ホームページ <http://greenglobe.jp> をご覧下さい)

当会は筑波山神社林内で過密なスギ、ヒノキ林を間伐、その間に筑波山の生態系に適った広葉樹を植え、針広混交林としての森の再生を行っています。林野庁も可能な場所によっては、針広混交林化を推奨、筑波山神社林内はこれに適うものと思料されています。8月11日(山の日)には「全国緑化行事発祥の地」での活動を、10月3日には筑波山神社林内で「第16回筑波山水源の森づくり」行う予定です。是非、ご参加下さい。